

# 蔵王の森だより

マンスリータイムズ 平成24年7月  
和歌山県立和歌山西高等学校  
和歌山県立和歌山北高等学校西校舎  
Tel.453-1281



## ☆話し合いで一步ずつ前へ・・・



7月10日(火)、視聴覚教室にて生徒総会を実施しました。生徒会決算報告・予算提案の後、各クラスや生徒会執行部で議論した要望について、代議員と本校教職員が意見を交換しました。近年は議論しあえる生徒総会になってきました。この流れを大切に、よりよい学校となるよう力を合わせていきたいと思ひます。

### 今回の生徒総会で合意した部分

- ①普通教室・特別教室の空調対策
- ②校内球技大会の検討
- ③生徒ホール問題に対する業者との相談  
(メニュー等)
- ④工事に伴う騒音対策



## ☆よみかたい講座、今年も！



7月17日(火)から19日(木)の3日間、本校図書室にて実施しました。参加者は4名で、それぞれ補習や三者面談の合間をぬって取り組みました。講座の内容は、絵本や紙芝居の魅力や特性を学び、絵本の持ち方や読み方、紙芝居の演じ方等を実習しました。最終日は、各自絵本と紙芝居の発表会を行いました。

今後4名は、高校SLAより修了証を受け取った後、地域の幼稚園や小学校等によみかたりボランティアとして活動します。



## ☆「さくら」からも応援を受けて

7月18日(水)、さくら支援学校が「硬式野球部激励会」を開いてくれました。両校校長および堀内監督より挨拶があった後、さくら支援学校生徒会長の乗鶴(くわづる)君からメッセージがおくられました。その後、生徒手作りの応援グッズ(メガホンと横断幕)がキャプテンの道上君に託されました。部員のみなさんは三校(和西、和北、さくら支援)からのあたたかい励ましを力に、紀三井寺野球場で全力でプレーしてくれることでしょう。



開校にあたり、和歌山西高校・和歌山北高校西校舎生を代表して、ひとことご挨拶申し上げます。  
この地は海拔70メートルに位置し、私達はおよそ270段にもなる階段を毎日登って登校しています。その途中、この季節には多くの花が咲き、とりわけ満開の桜並木を通ると、心新たに「また1年がんばるぞ!」という気持ちで一杯になります。機会がありましたら、みなさんも先生方と共に、ぜひご覧ください。

さて私達は、東日本大震災、紀伊半島を襲った台風12号による甚大な被害を受け、昨年度さまざまな形で被災地支援活動に取り組みました。街頭募金活動や現地での復旧作業、被災地小学生との交流等を通して、改めて「絆」や「つながり」「支え合うこと」の大切さを学びました。同時に「人間誰しも本来、誰かの力になれたり、励ましたりできる存在なんだ」とも感じました。

三つの学校が同じ建物の中で生活することに不安や戸惑い、心配もあると思います。でも生徒や先生方、保護者をはじめ、この地に関わるすべてのみなさんがお互いを尊重し、思いをはせればきっと乗り越えられれば、昨年度の経験を通して私達は確信しています。

これまで支援学校のみなさんと交流する機会はほとんどありませんでしたが、この度、生徒会代表が和太鼓を共に演奏させて頂きます。これを交流の第一歩として、被災地支援等の特別活動や学校行事等、知恵を出し合い取り組んでいきたいと思います。

自然豊かなこの蔵王の地で、共に学び育ち合っていきたいと思います。どうぞよろしくお願ひします。



平成24年4月10日

県立和歌山西高等学校・和歌山北高等学校西校舎

生徒会長 山中祐二

